

木造の可能性を広げる

防耐火設計実践技術(木造編)

セミナー開催にあたり

平成12年の建築基準法の改正により、木造における耐火建築物の設計及び建築が実現できるようになりました。加えて、平成21年の公共建築物等の木材の利用の促進に関する法律が施行され、木造における新たな技術開発や大規模木造の設計が可能になり、今、木造建築設計の可能性が大きく広がり始めています。

本防耐火セミナーを受講して、木造建築設計や技術開発、商品開発の可能性を広げてみませんか。

建築規模、用途にかかわらず、平屋建ての木造住宅から公共木造建築等の各種木造建築の建築主事、確認、監理、設計・施工等の関係者、製材等関係者に役立つセミナーです。



木造3階建て学校の実大火災実験

講師紹介

安井 昇氏(桜設計集団一級建築士事務所)



1968年京都市生。東京理科大学理工学研究科修了。
積水ハウスを経て、1999年桜設計集団設立。
2004年早稲田大学理工学研究科博士号取得。
現在、桜設計集団代表、早稲田大学理工学研究科客員研究員、東京都市大学非常勤講師、岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師。
建築設計のほか、建築防火が専門。

日時

2015年1月22日(木)23日(金)

9:00~17:30

受講料

5,500円

会場

ポリテクセンター愛媛

(愛媛県松山市西垣生町2184) 089-972-0329



CPD10単位

主催 ポリテクセンター愛媛

協賛 (公社)愛媛県建築士会 (一社)愛媛県建設業協会 (一社)愛媛県中小建築業協会 (一社)愛媛県木材協会 愛媛県林材業振興会議

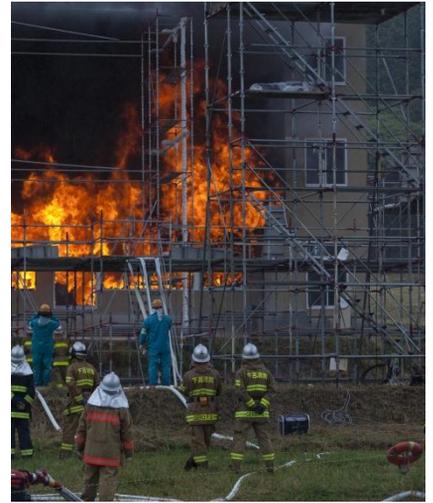
実大実験映像や実例の木造建築物に学ぶ



東部地域振興ふれあい拠点施設
(5~6階が木造)



下馬の集合住宅
(2~5階が木造)



木造3階建て小学校実験

【最新の木造防耐火】

- ・木造3階建て実大火災実験の映像より、一般的な平屋、2階建て、3階建てなどの内装、部材、建物の火災安全設計・計画を学ぶ。
- ・木造5階建て共同住宅、木造6階建て庁舎、木造7階建て庁舎(高知)など、先導的な木造建築物の防耐火設計や設計の進め方などを学ぶ。

【既存改修】

- ・耐震・防火改修し、地震後の火災にも耐えられる建物にするための技術とその計画手法を学ぶ。既存建築の改修計画に必見です。

【伝統的な防火性能】

- ・木造土壁、落とし込み板壁、木材現し軒裏など、伝統的な工法で防火性能を確保し、設計・計画に活かす手法を学ぶ。

【新たな技術開発】

- ・新たな仕様を法令に位置付けるための性能評価実験方法や、国土交通大臣認定取得の流れ・費用について地方の設計者、施工者、製材業者等がどのように取り組めば実用化できるかを学ぶ。

【CLT(Cross Laminated Timber)】

- ・今後の林業振興一躍を担い、中層・大規模木造建築設計の実現化において期待されている材料にCLTがある。このCLTの防耐火関係に関する動向や、燃えしろ等の防耐火に関する知見を学ぶ。設計者、施工者、製材業者、林業従事者等に必見です。

お申込み先

ポリテクセンター愛媛 訓練課事業主支援係:TEL:089-972-0329 FAX:089-972-0959

能力開発セミナー受講申込書

平成 年 月 日

コースNo.	H020	受講コース名	防耐火設計実践技術 (木造編)		実施日	平成27年 1月22日、23日	
受講者	ふりがな	男・女	現住所	〒	(TEL - -)		
	氏名						
	(生年月日)	西暦	年	月	日生		
勤務先名			申込担当者名				
所在地	〒			業種			
	(TEL - -)(FAX - -)						
企業規模 (該当に○印)	A. 1~29, B. 30~99, C. 100~299 D. 300~499 E. 500~999 F. 1,000人以上						
受講区分 (該当に○印)	1.会社からの指示による受講			2.個人での自己受講			
セミナーに関連する経験・技能等(※)							

※ セミナーを進める上での参考とさせていただくため、受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、

差し支えない範囲でご記入下さい。(例:切削加工の作業に約5年間従事)

■ 受講希望コースの受付状況をご確認(電話 089-972-0329)のうえ、上記「能力開発セミナー受講申込書」に必要な事項を記入してFAXでお送りください。